

## ゴム製品分野強化へ粉粒体供給機

**山陽クレー工業** 加工効率10~15%アップへ

山陽クレー工業(株) (備前市吉永町南方840-1、瀧本弘治社長、資本金4500万円)はこのほど、ゴム製品の充てん剤向けクレー製造ラインに、粉粒体連続定量供給機を導入した。

地元で採掘されるろう石を粉粒状にしたクレーに定期的に異なる鉱物を加えるための設備で、混ぜ合わせることでゴム製品の強度が高まるという。これまで社員1人が掛かりきりで1日5~10t生産してきたが、機械化によりムラがなくなり加工効率が10~15%アップした。

2015年度のものづくり補助金を活用し導入。投資額は約1300万円。取引先の手当ゴム製品メーカーが海外での事業展開を拡大することから、同社でも5年後ゴム製品向けの売上高を2倍に拡大する方針。

クレーは、主力の製紙向けで安価な中国産に押され、価格競争になっ



瀧本社長(右)と長男の亮氏

ていることから生産量は減少傾向にある。旧吉永町周辺では、昭和時代にクレー製造業者が約30件あったが、現存するのは数社のみ。製紙向け以外の用途を模索する中で、同社のクレーは同業他社に比べ10数%と粒が小さく、品質が良いゴム製品につながるとして数年前から大手と契約していた。今後の生き残りをかけ、タイヤやホースなど用途が幅広く成長が見込めるゴム製品分野で新規開拓を目指している。



粉粒体連続定量供給機

設備導入で中心的な役割を果たした瀧本社長と長男・亮氏は「大手企業の基準に対応したISOの取得など、さらなる品質向上に努めたい」としている。

**クレー** 粘着性のある微細な粒子の集合体。国内では三石地区と広島県庄原市でしか採れないろう石から工業的に精製した白色粉状の製品は、ろう石クレーと呼ばれる

「おいしい」を毎日。

## 金一両、おいしい小判。

ふるさとの味を今に…。三好野本店は、これからも地域の歴史と食文化をお届けしていきます。

DÉLICATESSE COMMUNICATION  
Fondée en 1781.  
**Miyoshi**

江戸時代半ば、備前の国と呼ばれていた岡山では「寿司一升、金一両」と称される豪華なばら寿司がお祭り一番の楽しみでした。三好野の祭りが誕生したのは昭和38年のこと。この岡山の味を全国の方々に召し上がっていただくために、傷みやすいかんぴょうなどの具を混ぜ込まず、錦糸卵をしきつめたすし飯の上に置くなど、レシピに工夫を重ねました。本来の具を混ぜ込んでいないことから、ばら寿司とあえて称さず、ばら寿司祭りの時期に食されることから「祭りし」と命名。金一両の逸話にちなんで小判に見立てた楕円形のお弁当箱に詰めました。

三好野本店は、地域の歴史と食文化を発信するため、毎日「おいしい」を皆様にお届けしています。



**株式会社 三好野本店**

〒702-8002 岡山市中区桑野 131-6 TEL.086-200-1717 FAX.086-200-2010 ☎ 0120-35-3355 <http://www.miyoshino.com>